

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 15 日 更新

事務事業名		小学生稲作体験助成事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	6	産業の健康					所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博	
	施 策	26	農業の振興					所属課	農政課	担当者名	工藤 一伸	
	施策の柱	70	後継者の育成					所属班	農政班	(内線)	5223	
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 10276	根拠法令	市農業振興対策事業補助金交付要綱 市補助金等交付規則				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業・農村理解のため米作り・稲刈り体験活動支援事業食育の重要性についてあらゆる場面で言及される機会が多くなってきている。子どもたちの教育として大変重要と考えている。
【業務の流れ】	J A 菊池青年部及びPTA主催による市内3小学校児童の田植え、刈取り体験に対する事業費の補助金支払い事務（申請書の確認、起案、決裁）
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	子どもたちの教育として大変重要と考えている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
小学生への農業体験機会をつくるため、稲作体験活動の実施団体(2団体)に対し、補助金を交付した。		J A 合志中央支所青壮年部及びPTAからの事業申請受付から補助金確定までの一連事務	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 補助金交付件数	件		
⇒ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内小学生		⇒ ア: 米作り活動を実施した学校数	校
⇒ イ:		⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・稲作体験を通じて、農業、農作物、食料について学習する機会を提供する。		⇒ ア: 学習の機会を得た児童の割合	%
⇒ イ:		⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 主催側の小学校及び学年の指定のため。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	校	3	3	4	3	4	4	4	4
	イ									
③ 成果指標	ア	%	3.88	3.9	14	4	14	14	14	14
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	140	140	140	140	140	140	140
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	140	140	140	140	140	140	140
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	2	0	2	2	2
入 費 量	人 件 費	延べ業務時間	時間	250	150	40	0	40	40	40
		(B) 人件費計	千円	977	570	159	0	159	159	159
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,117	710	299	140	299	299	299

事務事業名	小学生稲作体験助成事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 申請がある見込みのため
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】 現在の体験回数を増やすためには、体験圃場等の問題もあり、現在の規模が適当であるため。また、決まった学年での定例行事であれば殆どの生徒が一度は稲作を経験することとなる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 稲作体験を引き受けてくれる団体がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 現在地域の子ども会等で体験学習を実施しているところもあるが、水田（圃場）の借り上げ・肥培管理等の課題もあり実施にいたっていない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 補助金交付事務で必要最小限である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 体験を希望している小学校には、事業が行き渡っているため。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 市の基幹産業である農業について、子ども達に理解を促すこの事業は行政が行うにふさわしい事業である

3 評価結果の総括（CHECK）

例年通りの事業を行うことができた

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								